

## 医療部 吸引研修会報告

高知県理学療法士協会医療部では、理学療法士を中心とした医療従事者を対象に、吸引の基礎知識の確認、および吸引技術習得を目的に、年1回の吸引研修会を開催しております。

今回の医療部吸引研修会は、10月24日（土）の午後より、白菊園病院リハビリテーション室にて開催し、35名（うちPT士会会員32名、会員外OT2名・ST1名）のセラピストにご参加いただきました。

講師には、高知リハビリテーション学院理学療法学科助教授の片山訓博先生をお迎えし、前半は、解剖・生体への影響・合併症などの基礎知識、カニューレやカフ等の機材の説明を分かりやすく教えていただき、後半は、実際に吸引モデルを使用して、吸引手技の実技指導をしていただきました。実技では、参加者の皆様が積極的に吸引モデルに触れ、吸引チューブの挿入を試行錯誤しながら、手技を習得されていました。

参加者の皆様、今回の研修では、基礎的な知識や技術を学ぶことができたのではないのでしょうか？

今後、貴施設で吸引手技を行う機会があるかと思いますが、施設によって手技や機材が違うこともあります。また、リスクを伴う手技でもあるため、医師や看護師の指導の元に進めて下さい。

参加者の皆様の、今後のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

医療部長 片山 憲

